**実務家教員の派遣希望フォーマット**

**大学入力用**

北海道デジタル人材育成推進協議会　宛

　　年　　月　　日

|  |  |
| --- | --- |
| 1. 学校名
 | 北海道科学大学 |
| 1. 講義名
 | ソフトウェア工学Ⅱ |
| 1. 対象
 | 工学部情報工学科3年 |
| 1. 開講時期
 | 2024年度　後期　（　９　月～　１　月） |
| 1. 担当教員
 | 真田博文 |
| 1. 講義内容
 | ※シラバスをベースにご記入ください。※該当するシラバスのページをPDFデータで添付してください。 |
|  | 1. 講義の到達目標及びテーマ
 | 　この授業では、重要度を増しているデータ分析、機械学習、ディープラーニングといった技術を用いたシステム構築やサービス構築に必要な知識について学び、解決すべき課題に対して自ら適切な方法を選択し、実践できるレベルに到達することを目的とする。　 |
| 1. 全体カリキュラム（情報、数理・データサイエンス）における本講義の位置づけ
 | ・全１５回の講義のうち、第14回、もしくは第15回において，実データを用いた課題解決型学習を行う予定・このどちらかの回において企業におけるデータサイエンス活用例をご紹介いただきたい |
| 1. 講義形式
 | 座学 |
| 1. キーワード
 |  |
| 1. 実務家教員への依頼事項
 |
|  | 1. 実務家教員に依頼する理由・期待
 | ※具体的にご記入ください。 |
| ７．に記載したように実課題を例としてその解決の流れを体験する形式としたいため，企業での実際の事例を題材に，何が課題で，それをどのように解決したのかの例をご紹介いただきたい． |
| 依頼講義コマ数 | ※講義全体に占める実務家教員派遣講義の割合を確認するための質問です。下記で「コマ」と単位を入力していますが、日数や時間数など、必要に応じて単位を置き換えてください。 |
| 15コマ中 | １ | コマ |
| 1. 講義日時・内容
 | ※複数日ある場合はすべてご記入ください。※行が不足する場合は適宜追加してください。 |
| ① | ２０２５ | 年 | 1 | 月 | 8 | 日 | 13 | 時 | 00 | 分から | 14 | 時 | 30 | 分まで |
| ＜内容＞※本講義全体におけるこのコマの位置づけについてもご記入ください。企業におけるAI・データサイエンスの活用と実践（１）　（自分たちの学んだ知識がどのように役立つかを学ぶ） |
| ② | ２０２５ | 年 | 1 | 月 | １５ | 日 | 13 | 時 | 00 | 分から | 14 | 時 | 30 | 分まで |
| ＜内容＞※本講義全体におけるこのコマの位置づけについてもご記入ください。企業におけるAI・データサイエンスの活用と実践（２）（自分たちの学んだ知識がどのように役立つかを学ぶ） |
| 1. 教員の複数人での対応
 | ※１コマを複数人で対応することの可否 |
| 可　 |
| 1. オンラインでの対応
 | ※オンラインでの講義実施の可否 |
| 可　 |
| 1. 講義日確定後に都合が悪くなった場合の対応
 | ※休校、講義の変更、代役などの可能な対応方法をご記入ください。※上記対応ができない場合は「不可」とご記入ください。 |
| 科目担当教員が授業を行います． |
| 1. 講義で使用する機材・ソフト
 | ※講義で使用できる、または使用しなければならない機材等をご記入ください。 |
|  |
| 1. 実務経験歴、保有資格、指導経験等
 | ※特に求める資格等がなければ空欄で結構です。※行が不足する場合は適宜追加してください。 |
| ① |
| ② |
| 1. 事前打ち合わせの有無
 | 有（回数：　１　回程度）　・　無 |
| 1. その他特記事項
 |  |
| 1. 待遇
 | ※詳細にご記入ください。 |
|  | 1. 身分
 | ゲストスポーカー |
| 1. 報酬
 | 経費については要相談 |
| 1. 旅費・交通費・日当
 | なし |
| 1. その他
 |  |

ご記入ありがとうございました。

本フォーマットに関する問合せ先

北海道デジタル人材育成推進協議会事務局

（北海道経済産業局 製造・情報産業課内）

担当：天内、鈴木、矢野

電話番号：011－700-2253

e-mail：amanai-takenori@meti.go.jp